

# 北辰会報

第17号

発行者 大阪府立北野高等学校  
 定時制課程同窓会北辰会  
 会長 古城 具 祐  
 編集者 事務局長 前田 直 人  
 事務局 〒666-0262  
 兵庫県川辺郡猪名川町伏見台1-2-97  
 TEL・FAX 072-766-4170  
 kitanokoukou-hokusinkai@gaia.eonet.ne.jp  
 印刷 タブレット  
 TEL 06-6676-2520 FAX 06-6676-2519  
 DTP 株式会社グラフィカ  
 デザイン TEL 06-6765-1210 FAX 06-6765-1211

歴史を刻む

## 「北野高校定時制・北辰会」

### —— 母校ホームページに参加 ——

### 「北辰会の広場」を元気に

こじょう ともすけ  
 北辰会会長 古城 具祐 (18期)

平素は北辰会にご支援を頂きまして有難うございます。

去年は文集北宸Ⅳ「はるけき流れ」も発行でき、多くの皆様に喜んで頂いたものと思っています。

北野高校定時制と北辰会の足跡、文集に綴られた真摯な生き様、意気込みを多くの人に知って頂くことは、混迷の時代を生きる今の若者たちの成長のみならず、大きな意味で日本の教育に貢献できるものと自負しております。

また、母校北野高校のご配慮により、北野高校ホームページに「定時制・北辰会」のコーナーを設けて頂きました事に感謝致しております。事務局が中心となり内容を充実しています。

インターネットに繋がる皆さんは是非、北野高校のホームページにアクセスして下さい。また、パソコンは億劫だと言われる方はこれに挑戦して、自分自身の視野と可能性の拡大に努めて頂きたいと思います。北辰会も皆様の期待に沿えるよう今年も役員一同努力いたします。

#### 【東日本大震災の被災者のみなさまへ義援金20万円を支援しました】

今回の大震災に被災された皆様に心からお悔みとお見舞いを申し上げます。1日も早い復興と安寧を心からお祈りいたします。北辰会としましても義援金として20万円をお送り致しました。会員皆様におかれましても心をつなげて手を携えて復興に協力いたしましょう。

#### 目次

文集 北宸Ⅳ「はるけき流れ」によせて.....	2
藤枝・松下・山本・佐野・軽部・木下・河野 新井・伊藤・坪田・植田・川端・松村・竹ノ内 各氏	
皆様からのたより.....	7
安藤・清水・羽柿・松下・森山 各氏	
同期会・同好会だより.....	12
事務局からの報告.....	18



## 文集 北辰Ⅳ

## 「はるけき流れ」によせて

「一言も発せず一心に  
文集を読んだ友…」元校長夫人 ふじえだ としえ 藤枝 淑恵

到着後直ぐに電話しましたが通じず5日遅れになりました。主人の記事は亡くなった主人も喜んでいると思います。私も嬉しく涙が滲んできました。会報と文集を仏前に供えながら毎日少しずつ文集を読み主人に聞いてもらっています。有難うございました。

文集も本当に胸を打ち、感動と共感を抑えることができません。お書きになった方々や発行された方々に感謝いたしています。

私のように70歳を過ぎ、苦し



藤枝元校長と奥様

かった、頑張った、夢を持った青春時代を過ぎた者には当時を思い出させて初心に戻らせて戴いています。感動を感じるのには身体に若々しいエネルギーが湧いているのだと思っています。

先日、サークル仲間が私の家に集った時、中国からの引揚者の友人（66歳の女性、今は豪華客船で世界旅行を何回もなさっている方）は回りで喋っている私達に加わる事無く、一言も発せず一心にこの文集を読んでいた。この文集に私と同じように彼女を惹きつける何か大きなものがあるのだと思いました。

【事務局】…会報送付早々、元校長夫人・藤枝淑恵様よりお電話と多額の賛助金をいただきました。奥様は会話の中でご主人のことを思い出されたのでしよう。涙で声が聞き取りにくくなりました。奥様のお話は関係者皆、喜ぶでしょうと御礼を述べ電話を終えることにしました。（奥様の承諾をえて紹介させて戴きました。）

松下元北野校長先生  
からのお手紙元校長 まつした くにお 松下 邦夫

拝啓 梅雨に入りましたが、お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

過日は文集、北辰Ⅳ「はるけき流れ」をご恵送賜り、誠に有難うございました。何とか拝読を

と思ううちに日が過ぎてしまい、御礼が今日に至ってしまい申し訳ありません。視力を極度に失い上のようなことになり、深くお詫び申し上

げます。

北辰会の皆様の母校に寄せる思慕の情の強さは、はかり知れない程強く同窓会活動も大きな流れとしてこの後も永と続けられると思います。

そうしたご活動の一助にでもなればと気持ちばかりの寄付をさせて頂きます。ご笑納下されば幸甚に存じます。

古城会長様にもよろしくお願い致します。

同窓会の皆様のご多幸ご健勝を祈念致します。

平成22年6月24日

【事務局】…先生からは何時も北辰会へ多大なご支援を頂いている事に感謝を込めてご報告申し上げます。

## 松下北野元校長先生の 思い出、私と北辰会

23期 やまもと のぶよ 山本 展代(旧姓 森本)

松下校長先生にはとても思い出があります。私の長男が北野の生徒であったたしか3年生になるころに退学したのです。大検で大学に行ったのですがこの時の校長先生が松下校長先生でした。

そのころ夫がまだ他高校の教師でしたので松下先生が心配して声を掛けてくださり、大学に入った時もお祝いのお手紙を下さいました。そのときの担任からは無かったですが先生はわざわざくださったのです。辞めても励ましてくださる本当に立派な先生で有難かったです。

北辰会との係わりで松下先生のご様子を知りました。

松下校長先生とは、息子が学校を辞めると言ったときの夫の対応とか思い出してなつかしかったです。勝手な思い出をかいてしまいました。また、お電話でお話と、御礼も伝えることが出来長年の胸のつかえも消えました。

### 私の定時制生活がまた、始まりました・・・北辰会を知り

2009年1月、或る人の病床で見舞っている3人の中の1人が話される話に「えっ」と思うことがありました。それはその人が北野定時制卒業生であったことでした。

私はそれまで何10年と同窓生に逢ったことが有りませんでした。その人は「北野定時制閉課

程」のことと「72年史」が出ることを新聞で読んだと話されたのです。それらの事もまったく知らなかったなのでその新聞と北辰会報を見せていただき、北辰会を知るきっかけとなりつながることができました。

それから私は事務局へ賛助金を送り、事務局の名簿に住所の記載を御願い致しました。

そして、2010年4月北辰会報と文集「はるけき流れ」が届きました。また、72年史、文集「ゆうべの星」を直ぐに注文いたし手にすることができました。はるけき流れに寄稿された方々に共感を抱き、代弁して下さっている気持です。北辰会が私の中で急速に近づきました。

北野高校は薬の選別で1日錠剤を見つめていた職場と人間関係の複雑さに多少苦しみ耐えていた日々のそんな私にとって救いの場でした。学校にすれば人間らしくふるまえ自然な高校生になれました。また、学校で生涯の伴侶となった人に出会いました。その夫が2003年亡くなり辛い思いと共に、北野定時制で培われた精神的な力をこれまでもまたこれからの残りの時をも活かして生きたいと願っています。生きる中で立ち往生する私に青春の故郷でありオアシスです。

北辰会は私にとって青春時代の仲間が集う大事な力と安らぎを戴く存在になりそうです。現在、皆様と楽しい登山、ハイキングなどで楽しんでいきます。北辰会の皆様に感謝しています。



## 今でも十数人と… 人生最大の宝

旧教師 さの てつろう 佐野 哲郎

前略ごめんください。

「はるけき流れ」を拝受いたしました。ありがとうございました。

私はわずか2年の在籍でしたが、懐かしい同僚や生徒達の顔が浮かんできます。今でも十数人とは、50年を超えるつきあいを続けていて、これが私の人生の最大の宝となっています。

それぞれに熱のこもった文章を読んで、いい学校だった、との思いを新たにしました。皆様のご健勝をお祈りします。まずは御礼まで。

不一

## 主人の仏前に供えました

1期 (故) <sup>かるべ</sup> 軽部 <sup>ちあき</sup> 千秋氏 奥様 <sup>まさこ</sup> 雅子様

拝啓

野山にはさまざまな花の香りが漂うこのごろです。

この度は「はるけき流れ」の素晴らしい文集をお送りいただきましてありがとうございます。

早速主人の仏前に供えさせていただきました。

主人もきっと嬉んでくれている事と存じます。

会長様、事務局長様、又、大勢の皆様方のご努力のおかげで立派な記念誌が出来ました事、感謝致します。ありがとうございます御座居ました。

此の後の北辰会の御発展を心よりお願い申し上げます。

同封致しました金参萬円、会のお役にたてましたら幸いです。

「はるけき流れ」一冊、娘に送りたいのをお願い致します。

## 遺作として家族に大切に伝えます

2期 (故) <sup>きのした</sup> 木下 <sup>のりやす</sup> 憲保氏 奥様 <sup>やすよ</sup> 安代様

若葉の輝きに満ちる季節になりました。

この度立派な記念誌を頂きまして、皆様にご苦勞お掛け致しました事を心より感謝申し上げます。早速仏前に置き報告いたしました。誇

り高き母校の校旗を持たせていただきました事など聞いていましたが改めて嬉しく思っています。苦勞と喜びの人生を歩んでこられたことに感慨深い思いでございます。

この後も遺作として家族に大切に伝えていきたいと願っています。

皆様のお手許に見ただけです事は大変幸福に思います。末筆乍ら主人に代わり感謝と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

## 先輩山下重夫さんとお話できました

7期 <sup>こうの</sup> 河野 <sup>ただし</sup> 正

未だ全編完読いたしておりませんが、今日までに拝読いたしました中で、第6期生、山下重雄氏の文中に、彼が昭和17年当時、阪大理学部に勤めておられた由が述べられております。実は、小生も当時同じ阪大理学部勤務いたしておりました。小生、文にも触れました泉尾第二工業へ入学の時から北野二中卒業後も、2年のブランクはありましたが昭和27年迄奉職しておりました。折あれば一度山下先輩と懐古談を交わりたいものと思っております。

今一遍は第24期生、谷健司氏の【山本山】先生にまつわるお話で、円周率(π)の小数点以下の覚え方を誠にユニークな文章で披露されて

おります。今更ながら感じ入り、近頃犬との散歩の折にお経のように唱えております。何時の日か誰かをつかまえて自慢してやろうと思っております。まだまだ諸氏の作品には感じさせられるものが多々ありよみ返し読み返ししておりますので、中々進歩いたしません。読了後には又、所感を述べさせていただこうかと思っております。



## まさに戦後史！ 北宸Ⅳ「はるけき流れ」

12期 あらい 新井 みのる 實

北宸Ⅳ「はるけき流れ」が届いた。

1期から67期までの卒業生多数がそれぞれの在学中の思い出や卒業後の人生を語っている。一読、懐かしさがこみ上げるとともに尊敬の念を禁じ得なかった。

そして、まず感じたのは語られる皆さんの体験の背景にある色々な事件であり、まさに戦後史そのものだということだった。例えば私達の時代は戦後の混乱期であり、定時制へ通うのは家庭的に、あるいは経済的に全日制を諦めなければならない生徒が多数であった。しかし、近年では高年齢で入学した人たちがいることを知った。そこには向学心という共通のものがあるが時代の変化を感じざるを得ない。このほか

様々な事件が体験的に語られるが、それらを自分の記憶と重ね合わせていくと、冒頭のような感慨を覚える。

次に特筆すべきは社会で尊敬される地位に達した人の多さである。それぞれの努力の賜物であることは言うまでもないが、その基礎は北野高校定時制にあったと言えるでしょう。

それに反し、作家、芸術家、舞台人などが見当たらないことである。寄稿していない卒業生が多数あることだから、それらの分野で活躍されている人もあるだろうが、そういう人たちがこの文集で見当たらないのも母校の持つ雰囲気の所為かとも思う。

この文集で感じることはこのほかにもたくさんあるが、特に感じたことを書いてみた。

これだけのものを完成させるには大変なご苦勞があったことは想像に難くない。編集に当たられた皆さんに敬意を表したい。

最後に会員皆様のご健勝をお祈りする。

## 感激で眠れませんでした

18期 いとう 伊藤 ともこ 俱子(旧姓 縦野)

初めの方と、18期、19期を急いで読みました。感激で眠れなくなりました。

日本が貧しかった時に、少年少女たちが勉学の志に燃えて、けなげに生きた歴史がそれぞれの文章にあふれ、先生方が教育者としてだけで

なく、生身の人間としてご指導して頂いたことなど、当時は日本が希望に燃えていた時期だったと。

今日の成熟時代に、若い人たちが生き難いと感じていることの不幸を思います。

寄稿者の方々が、現在は心身ともに満たされて、感謝していると穏やかな老境を過ごされている事にも、良かったなと同感しています。

## 働きながら学ぶ場所が必要

20期 つばた 坪田 ようじ 陽司

いつもご苦勞様です。

私も卒業後同窓会の名簿作りに25年間、事業拡大の最も時間の多忙時にお世話をさせていただきました。その世代は同期生も転勤転宅で大変でしたので、この後現在に至るまでこのお世

話にたずさわって下さっている諸氏には心から感謝いたしています。

3年前の卒業式には出席いたしました。寒さにふるえていましたが先生と生徒達とのフレンドリーな姿に心が暖かくなり、一抹の淋しさもありましたが満ちたりた気持ちで帰路につきました。いつの時代も働きながら学ぶ場所が適所に必要なのですが……。

## 「ゆうべの星」に 涙した10年前

27期 <sup>うえだ</sup>植田 <sup>もりやす</sup>盛保

北辰会報をいつも送っていただき有難うございます。役員の皆様様の御苦勞に感謝申し上げます。「はるけき流れ」の文集をお願い致します。

「ゆうべの星」を読みながら、年のせいか涙

ぐんでいると、娘に見られて「これは父さんの夜間高校の文集たい」と答える私。その後、娘も読んだらしい。不安でも、ただただまじめだった、みんなやさしかったあの時代。娘に知られたようだ。今はその娘もいいお母さん。

27期生の皆さんお元気でしょうか。私は長崎県の端の方で陶器を焼きながら、なんとか生きております。皆様のご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。

## 残りを他人のことに 思いやる人生を

27期 <sup>かわばた</sup>川端 <sup>やすみ</sup>康巳

文集編集に携わった皆様には大変お世話になりました。感謝致します。私の稚拙な文章を簡潔にまとめて頂きました。いつも思うことですが、北野定時制を卒業した人は、皆頑張り屋でエネルギーがよく出ており、逞しく感じます。

今回、北辰会報も一緒に送られて来ましたが、その中、岡田美乃利さんのデンマークの報告内容は興味深く読ませて頂きました。

役員、事務局の方達の北辰会を支える思いには感心します。

今まで私は自分の利に叶うことにエネルギーを費やして来ましたが、残された人生、少しでも他人の事を思って生きるよう努力をして行きたいと思います。

## 素敵な表紙ですね

33期 <sup>まつむら</sup>松村 <sup>きよし</sup>喜美

「はるけき流れ」が届きました。担当の皆様本当にご苦勞様でした。

受け取って、先ず表紙写真と題字に何ともいえない物を感じました。

それが何なのかと今又手にとって見入っています。

あの当時、体の中はこの写真のような、一日の仕事が終って……。

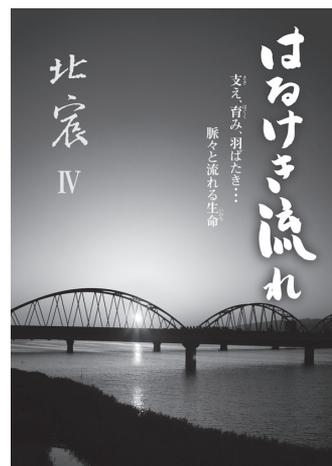
でも、気持ちはこの題字の様に学びに対する

清き力強い高揚にかられたあの当時。

決して、疲れににごりは無かった。この写真の夕日に負けないくらいの明度があった。

そんなことを思い出させてくれます。とっても素敵な表紙ですね。

私の投稿も記念になりました、有難うございました。この力に後を押されて農りある生活を深めたいと思います。



## 83歳ですがボランティアに行きます!!

43期 <sup>たけのうち</sup> 竹之内 キクエ

「はるけき流れ」を全部読みました。  
皆様の涙ぐましい努力、社会に出てからのご

活躍とたくましさには感激しました。

現在私は83才になりましたが、皆様の元気を頂き若い日の元気が出ました。

本年5月より介護福祉の免状がありますから老人ホームのボランティアに行かうと心に誓っています。「はるけき流れ」のお陰です。本当に有難うございました。

## 皆様からのたより

### 80才越えの3年

6期 <sup>あんどう</sup> 安藤 <sup>けん</sup> 謙

この3年間身辺の変化を同窓兄姉のご参考までに報告します。

1. 裁判所通訳の依頼は、さすがに80才を過ぎると止まりました。それ迄は英語と韓国語の通訳で年に4~10回位、外国人の被告・被害者に対する裁判の公正に役立つことに、やり甲斐を見出して励みました。
2. 9才年下の愛妻に先立たれました。心身ともに健康で常にまわりの人々に愛情を持って接し、51年間も苦楽を分かち合ったパートナーでした。

美智子は学生時代には短距離ランナーとして活躍し、結婚後は私の母への孝養と1男2女の育児、両家の不遇な親戚の援助をしながら、私には憩いと励ましの泉になってくれました。優しさの中にも芯の通ったクリスチャン・ホームを築いてくれました。家族づれのスキー、登山、旅行、ゴルフなど活動好きな私にとって最高のプロデューサーも務めてくれました。



安藤さんとご家族

孫娘は1人だけですが、彼女にとって「スーパーおばあちゃん」は憧れの人でした。

3. 美智子は週1回近くのプールで泳いでいましたが、バタフライの頑張り過ぎか大動脈解離で倒れ、救急車で赤十字のICUへ運ばれ九死に一生を得ました。3年前の6月の出来事で、それ以来は不本意な療養生活を余儀なくされました。

何事にも几帳面で清潔好き、身の軽かった彼女が突然「自分の持ち場」としていた家事さえも控えめにせざるを得なくなり、2人での病院通い、2人での朝夕の30分程のウォーキングがやっとで、私の出番が増えました。

「次の発作があれば危ない」と注意され爆弾を抱えたような生活のため、軽いパーキンソン病とうつ病の症状まで出て来て、陽気な彼女が涙を流すように変わりました。私は彼女を「家事の師匠」と呼び、「あなたは指示だけ」、「私は弟子」の関係にして、少しばかり彼女を元気づけることができました。

彼女と私は共に3代目のキリスト教信者で、祈り、感謝、質素、奉仕など人生の基本的価値感がピッタリ一致しました。金婚式の翌年までの結婚生活は神の恵みの幸せに満ちていました。その美智子が1年半の療養中に突然、しかも私が教会に行っている留守中に、誰にも看取られず呆気なく昇天してしまいました。

た。1人、居間の床に安らかな顔で倒れていました。「人の命は神の御手にある。生まれる事も死ぬ事も神が最善とされる時に起きる」と言う聖書の信仰で私は、この愛惜の別れと受けとめました。天国での再会を信じ、悲しみを感謝に切り替え、1日に何回も彼女に呼びかけながら、精一杯、信仰者としての1人暮らしを続けています。

4. 両膝を人工関節で置換しました。私の10年来の変形性膝関節痛が悪化し、「もう人工関節置換しか治療法なし」と診断され、3年前左膝を、2年前に右膝の手術を受けました。そのため私は1ヶ月入院し、美智子は30km離れた所沢に住む次女の手伝いを得て、療養中何とか家事をしながら私に見舞いに隔日来てくれました。

この手術のお陰で私は膝の痛みから解放されました。以来毎日スキーのストックを二本、杖代わりにした「ノルディック・ウォーキング」を40分以上続けています。ありがたいことです。

愛妻の召天で私の生活は更に変わりました。7年程前から私は選ばれて日曜礼拝の「導き手」を務め、約20分間その日の礼拝テーマになる聖句を引用して伝道メッセージを伝えて来ました。私たちの教会は上部組織やプロの聖職者の影響を受けずに、各信者が聖書を学び、直接神に祈り賛美し、お互いに励まし助け合う独立集会です。4人の導き手が積極的に聖書を勉強してきて交代で礼拝を導き宣教する清教徒系です。

美智子の病気以来、私は以前に増して、聖書を勉強し、祈り、伝道に励み、彼女が先立ってからは、さらに多くの時間と精力を「イエス・キリストのために」捧げることで励ましと慰めを頂いています。

5. 私は早稲田大学院で政治学を研究していたので、ロッテの幹部候補として中途入社し23年勤めました。うち13年間は役員でした。

丁度会社の発展期だったので、やり甲斐のある多くの新事業の責任者として「サラリーマン冥利」につきる日々でした。神のご加護と家庭をしっかり守ってくれた美智子のお陰で

した。その後、世界最大の香料会社 I F F (本社ニューヨーク) の経営顧問として16年間国際人生活もできました。

71才の時、両膝の痛みで頻繁な海外出張に耐えられず辞職してからは、子供たちも独立していたので、約10年間美智子と2人で楽しく、少し落ち着いた生活を楽しめました。

彼女の召天後は、天国での再会を信じ、一人でも多くの人に一時間でも多くイエス・キリストの教えを伝えることに生き甲斐を見出しています。彼女が恋しくなって日に何度も呼びかけますが、その度に彼女への感謝を口にするので、少し癒やされます。

間もなく83才になる私が、何とか気力、健康を維持して来られたのは、神の教えであり、幼時から私を信仰に導いてくれた母の愛であり、妻の後押しと重宝な道具となってくれた英語の力です。恩師(特に北野夜間中学)・上司と友人達にも多く助けて頂きました。私は26年前、英検1級をとり、翌年には国連英検特A級の資格をとりました。伝道と英会話教室で奉仕することが私の使命と感謝しています。

## ほうせい 旧満州方正県の 日本人公墓を訪ねて

しみず あきら  
15期 清水 昭

昭和10年代、国策で中国東北部(旧満州)や内モンゴルに入植した「満蒙開拓団」は、27万人に及ぶ。そのうち8万人以上が敗戦で帰国できないまま、現地に残留孤児や残留婦人として残されたり、非業の死を遂げ、遺骨の多くが未だ現地に埋もれたままになっている。

奥地の方正には、戦時中絶大な権力を持っていた関東軍の補給地があったので、敗戦のとき周囲の開拓村から多くの難民が集まったが、そこでソ連の攻撃や匪族の襲撃など、病気や栄養失調、集団自決でそこで数千人が命をおとした。

のちに周恩来首相の配慮で方正人民政府が日本人の為に日本人公墓をつくり、適切に管理し

て、約5千人の日本人遺骨が葬られている事がわかっている。

一昨年公開された羽田澄子監督演出映画『嗚呼開拓団』をきっかけに、中国帰国者支援交流会が呼びかけた9月末の一週間、旧満州へ旅をした。参加者は東京など関東や関西近郷から27人、多くは帰国残留孤児の支援ボランティアや戦時中大連の旧制中学で学んだ再訪者、在阪の中国語新聞の写真記者などで殆どが65才以上の高齢の男女。

主要訪問地はハルビン、長春、瀋陽、大連との都市間の移動は旧満鉄が電化されて、北京に通じる新幹線「<sup>わかい</sup>和諧号」。本格的な新幹線専用線路や都市部の住宅の高層化、高速道路など社会インフラ整備の工事が多く実施されて活気に



清水さんと石碑、奥のお墓

満ちている。

いま中国では日本の高度成長期と同じ歩みが急速に進んでいる。方正は、ハルビンの東方180km、整備された高速道で2時間余、現地ガイド付きの借上げバスの旅。途中の景色はあの広陵とした平坦地で、地平線迄トウモロコシの畑、場所によって一部稲作が見える。山や林や集落も、数kmおきに見る程度で確かに広い。

一行は、先ず方正県の人民政府を表敬訪問し、外事弁の主任と会見、永年の公墓の維持管理に対して感謝状と記念品を贈呈。その後郊外数kmの小高い砲台山の麓にある中日友好園林は松花江に近い。人里離れた静かな墓苑の入口に「方正地区日本人公墓」と碑名を刻んだ高さ3.3mの花崗岩の石碑、奥の円形のコンクリート製の墓の下に遺骨が眠る。その横に後に追加されたもう一つの円形の墓、近くに残留孤児が帰

国後に建てた中国人養父母の石碑。

参加者は訪問団として2対の花輪を献花し、めいめいが持参した米、菓子、飲み物などを供え冥福を祈る。園内の記念館には訪れた日本人が置いて行った記念品や供物、記録や友好の鐘が置かれ、管理人が常駐し、清掃や保守と参拝者の案内もしている。またこの園内には、この地域の稲作の普及に貢献した山形県の人々の石柱の立派な顕彰碑がこの地域の感謝の気持ちを表現している。こんなに高緯度で、コーリャンかトウモロコシが主要作物だったこの地で、品種改良や肥料、水の管理などの技術指導で稲作が普及した事の意義がいかに大きかったのか、この碑文で読み取れる。

### 「帰国家族」と日中交流

帰国後の新聞によれば、これまで方正政府が全額負担して来た管理の費用を、今年日本政府が初めて一部支援することにしたそうだ。日本からこの公墓に毎年遺族や帰国者約一千人が訪れ、逆に方正県から約2千人が帰国した親族訪問で日本へ訪れ、それぞれの地を第二の故郷として友好の歴史に根差した交流が続いている。

ハルビンへ戻る帰りのバスは、高速路を時速100km以上で走った。遠景の農地の部落や防風林はどんどん後方にとんで行くのに、西に傾いた真っ赤な大きい夕日はいつまでもバスに追いついて来る。空に一点の雲なく、いつか映画で見た旧満州の景色を実感した。

ハルビンはこの100年、日本とロシアが覇権を争った。街には今も両国の名残が残っている。あの戦後の混乱で旧満州に置き去りにされた日本人孤児が当地で中国人に育てられ、残留している事がわかって来た。その後両政府の調査と相互協定で孤児とその家族の帰国事業が始まった。旧満州から孤児の2世、3世家族が家族の呼び寄せで帰国し永住する家族が帰って来ます。孤児本人とその配偶者は私たちと同世代、その家族は肉親とのつながりの関係で帰国と永住の合法性があれば日本政府が受け入れ、ある程度の帰国後の日本語教育や生活指導教育の支援に予算が出て、東京や大阪の支援センターで受け入れられる。大阪だけでも既に1000世帯、3000人以上が住んでいるし、一定期間が過ぎる

と全国に分散しているので全国では数万の帰国子女2、3、4世が定住している。日中両国の不幸な時代の直接の体験者はだんだん少なくなるが、それを継いでいる後世が現実にたくさん居るのである。

なおハルビン、長春、瀋陽、旅順・大連など旧満州時代の跡、盧溝橋事件の現場、特に撫順の203高地や水師營、日本統治時代の監獄所など戦時中の拠点は、最近まで外国人には開放されていなかった歴史的拠点も巡る旅だったが、ここでは省略する。

## 北辰会に参加して

27期 副会長 はがき羽柿 みよこ美代子(旧姓 馬場)

ある時、新聞記事が目にとまりました。小さな記事で「北野高校、建替え工事」びっくりしました。早速、学校へすっ飛んで行きました。校内に入ると、クラブ活動の元気な声が迎えてくれ、職員室をノックしました。又、ビックリです。体育の藤井先生がおられ会話をしていたら、授業を終えたばかりの両部先生が入って来られたのです。近々、北辰会の1995年総会があると誘って頂き、27期の皆に電話しました。卒業後、初の登校となり27人が参加し、学び舎で恩師、級友と会話を楽しみ喜んで頂きました。

その後、同期会、北辰ファミリー等々を催し、北辰会に参加するようになり、小さな記事のお陰と思っています。母校定時制は閉課程となりましたが、私達が元気な間は北辰会を続け、次世代に伝えて行きたいと思っています。

私自身も13年前より、健康と美容に関心を持ち、無肥料無農薬で、米、野菜、果実作りを家族や、友人と共に、良い汗を流しています。若い時は出来なかった、自治会に地域活動にも積極的に参加して、人付き合いの輪を広げています。又、北辰ファミリーのハイキング、山登



り、旅行は何時も山田先生に同行して頂いています。今後もグループへの参加が増えて、お互い元気が貰えたら幸せです。関心ある方は、是非ご連絡ください。

## 数10年振り、鹿児島から

27期 まつした松下 たつお達男

拝啓

晩秋の候、南国、鹿児島も冷え込みが冬らしくなって参りましたが其の後お変わりございませんか。

数10年振りの大阪行楽を満喫して鹿児島へ帰りましたが、先日は北辰会報、文集等を送付いただき有難うございました。

卒業以来、40数年振りの母校の綴られた情報にどれを先にとむさぼり読みましたが、当時の思い出や級友の名前に接し、おぼろげに浮かんで来ました。

今、振り返ると在校時には気づかなかった同窓生の向学心や何物にも変え難い貴重な経験が蘇ってきます。其の努力は其々の指針となり人生の活躍の場が築かれたことと想います。

中でも悲しい情報は担任であった河内先生が昨年、お亡くなりになった事を聞きました。これまでお会いする機会を逸し、ただただ残念でなりません。恩師に対する愛着、感情は皆が共有し私だけのものとは思っておりませんが、特に昭和41年3年(組は不明)担任時の河内先生のご恩を忘れることは出来ません。

私は3年生当時、勤務先の昇任試験(合格者は1年間の研修)を受験するため放課後、特に河内先生に数学の個別指導をお願いして幸いにも合格できました。

その結果、1年間、休学する事になり、研修終了後は再び4年生に復学し43年に卒業できました。当時、河内先生から私に対するメッセージを「天才は世界を創る、努力家は世界を動かす」君は後者である。それは「他の人は1を教えたら10を悟るが、君は10まで教えてやっと1

を知る」また、次のようなことも書き残していただきました。「健全な精神は健全な身体に宿る」とも。

生活指導の面でも、職員室で私がポケットに手をつっ込んで河内先生に話しかけたら注意されたことを思い出します。其の時、温厚な先生から注意を受けたことに、いささか反発心もあったと思われるが今日ではあの時の態度を「すみません」と素直に反省できる歳になりました。

40数年の間に幾度、灯りの点いた教室や運動場、卒業式等の諸行事を覗いてみたいと思っていましたが河内先生とも最早、会うことが適わず定時制も閉課程となった今、悔やまれてなりません。

遅まきながら、母校に対する慕情を北辰会報等で受け繋いでいければと思っております。北辰会長を始めお世話していただく役員の方々、同窓の架け橋としてご尽力くださるようお願い申し上げます。

僭越ながら北辰会同窓生のご健勝とご活躍を遠い鹿児島からご祈念申し上げます。

敬具



# 得本弁護士ご活躍

北辰会会計監査、7期幹事、得本 嘉三さんらの4年に亘る奄美群島での弁護士活動が2010年8月17日付の朝日新聞夕刊に紹介されました。

**島へ弁護士 三 大阪の有志 奄美で法律行**

十数年の島に居る奄美群島で弁護士がいるのは奄美大島(人口約6万2千人)のみ。法的サービス提供のため、日本弁護士連合会資金援助する法律事務所や、日本司法支援センター(法テラス)の事務所(同前)にない。2007年6月、大阪弁護士会の得本嘉三さん(63)らが大日本弁護士連合会(同前)を設立(同前)を断った。

支援センター(法テラス)の事務所(同前)にない。2007年6月、大阪弁護士会の得本嘉三さん(63)らが大日本弁護士連合会(同前)を設立(同前)を断った。

「法律相談会を開いていじを知らなかった。同窓会内にも相談会開くと、島民が次々と駆け寄る。事件も事故もない島でも弁護士の大仕事は多い。親戚や縁戚(同前)の相談人を動かし、手弁当での相談会を開くようになった。

今年5月31日と6月1日、30、80歳の得本嘉三さんが初めて奄美大島(同前)で初任(同前)の弁護士(同前)として、手弁当での相談会を開くようになった。

飛田は1日1便、島民が弁護士に相談するために泊まりかねて往復した。大川さくらさん、沖永良部島内の知多町と和泊町で許せろか(同前)に、弁護士は「ゼロワン地帯」と呼ばれる「ゼロワン地帯」と呼ばれる

**離島なお**

金銭に計り難い地帯と地帯支部の管内に、弁護士は「ゼロワン地帯」と呼ばれる

**生年目**

「法律相談会を開いていじを知らなかった。同窓会内にも相談会開くと、島民が次々と駆け寄る。事件も事故もない島でも弁護士の大仕事は多い。親戚や縁戚(同前)の相談人を動かし、手弁当での相談会を開くようになった。

今年5月31日と6月1日、30、80歳の得本嘉三さんが初めて奄美大島(同前)で初任(同前)の弁護士(同前)として、手弁当での相談会を開くようになった。

飛田は1日1便、島民が弁護士に相談するために泊まりかねて往復した。大川さくらさん、沖永良部島内の知多町と和泊町で許せろか(同前)に、弁護士は「ゼロワン地帯」と呼ばれる

**得本さん**

## 幹事、久々の後継者? 誕生!!

54期幹事 <sup>もりやま</sup> 森山 <sup>りか</sup> 里佳 (旧姓 松浦) さんより昨年12月、女子 <sup>こころ</sup> 皇皇ちゃん誕生の嬉しい知らせがありました。幹事さんに子供誕生の知らせは何十年来ない嬉しい知らせです。

森山さんは高齢(?) 出産のため腰が痛いと言っていました元気な明るい声でした。



森山さんと皇皇ちゃん

# 同期会・同好会だより

## 河内先生の遺作展 開かれました

北辰26期会

「河内先生遺作展」を2011年2月25日～3月2日ナルミヤ戎橋画廊で開催に協力。

山田先生、南野（稔）先生をはじめ富山、金沢、香川、長崎より多くの方にご来場、ご支援ご協力を頂き無事終えることが出来ました。有難うございました。

★2011年11月 同期会開催予定



## 東京北辰会より

北辰会事務局東京担当 12期 さ さ き ゆきまさ 佐々木 幸政

お陰さまで6月12日（土）H22年度「東京北辰会・懇親会」無事お開きとなりました。本部よりご多用のところ古城会長・菅原副会長の出席を賜り厚くお礼申し上げます。

折角ご参加いただきましたが、直嶋大臣は多用にて急遽欠席となり、皆さんには大臣からのメッセージを挨拶に代えましたが、残念と共に失礼したことをお詫びした次第です。

出席者は20人と少ないようですが、ジュンブライドの（土）大安であった為、部屋が取れず、人数に制限があった。（直嶋さんの予定に合わせ日時設定）しかし齢は重ねているが皆さん益々お元気で約3時間がアツという間に過ぎ

ました。今回も12期の在京都・石丸陽一君の参加もあり50～60年ぶりの再会と盛り上がりました。石丸君と新しい東京タワーの2年後の完成にあわせ、再度参加を約し散会いたしました。



前列左 松尾東京北辰会会長、前列右 古城北辰会会長

## “ありがとう”東京北辰会の みなさん懇親会参加して

いちまる よういち  
12期 石丸 陽一

突然の参加で驚かれた方々も居られたと思いますが、重ねて来た齢の故、近頃脚力の衰えを感じさせられ、介護者の必要となる前に、一人で旅行らしきものをしていたいと思っていたところ、同期の佐々木兄の誘いがあるって、これはいい機会。会場の「ホテルオークラ」も未知の所だしと、久しぶりに興奮した気分になり、東京北辰会の懇親会へ出席することを決心した次第。

懇親会に集まった人達とは、初対面の方々がほとんどでしたが、打ち解けた和気藹藹の雰囲気の中、対話もはずみ、楽しく時間を過ごさせて戴いたことを感謝しています。勝手に参加させて戴いて正解でした。無礼な言動が多々あったと思いますが、悪しからずお許しを願います。

出席をされた人達の中には、未だ現役で活躍されている方達も居られ、又それぞれに自分の



左から佐々木さん、石丸さん、五熊さん

努力目標を持って努力されている様子をお聞きし、自分の何となく過ごして来た定年退職後の20年が恥ずかしく、これからの時間を考えさせられました。反省。

### 東京の印象を少し

約30年ぶりの東京は全く見知らぬ都市でした。現役時代に何度かあった東京出張は、昼間の特急で6時間半、夜行だと11時間半を費やして、やっと到着。遙か来たものだと東京駅のホームで深呼吸などをして、感動すら覚えたものでしたが、今回新幹線“のぞみ”は当然ながら比べものにならない快適な座席、しかも京都から2時間21分。あっけなく簡単に東京まで運んでくれました。今時こんなことを書くと、何のたわごとと笑われると思いますが、正直な実感です。私の自宅から京都駅へ出るより、ずっと楽でした。

東京の市街も全く馴染みなどはなく、過去に何度か来た街とは思えませんでした。もともと方向音痴なのですが、つきあってくれた佐々木兄が案内してくれた箇所も、チンプンカンプン。点でしか記憶がなく、全くのお上りさんで、彼もさぞ案内し甲斐のない奴と思ったことでしょう。

### 帰宅してからのこと

ベスト16まで進んで、日本中のファンを熱狂と感動の渦に巻き込んだ、サッカーW杯もスペインの優勝で幕を閉じ、その最中の選挙運動で、騒がしかった選挙戦の結果も出て、世間は静かになったかと思いきや、今度は大相撲の問題。賭博で大相撲協会が大揺れ。親方、関取の何人かが処分され、楽しみにしていた名古屋場所のテレビ中継が中止。実は、東京まで来たの

だからと、テレビ画面に写る堂々たる国技館の屋根でも見ておこうと、両国まで足を伸ばしたにも拘わらず、時間の関係もあってみる事も出来ず、テレビ中継が中止とは。相撲ファンの私にとって重ねがさねの残念でした。ごちゃごちゃと騒がしい世間ですね。まとまりのない稚拙な文の羅列ですみません。全くのお上りさんを体験させて貰ったというのが東京の感想です。

梅雨末期の激しい雨の連続で、西日本各地で、相当の被害が出ましたが、幸い私の方は大したこともなく終わりました。梅雨明けの酷暑（こんな言葉は以前は無かった筈です）でウンザリです。せいぜい体調の維持に気を配り、相應の健康を保ちたいと思っております。

いろいろお世話になった私の東京旅行大げさですが、私の中での一大イベントは、心地よい興奮をみやげに無事終わりました。ありがとうございました

みなさまのご健康を祈ります。

謝 謝 再 見

## 第2回金剛山植物観察会

26期 くわな こうじ 桑名 耕治

参加者：山田先生、山本、梅谷、西田さんと藤本さんご夫妻が参加されました。

毎度、梅谷さんの楽器演奏付き山歩きでありまして、私たちが少々のことでは驚かなくなっていたのですが、なんと今回は「ホラ貝」演奏付きで、びっくりしました。

疲れきってとろとろ歩くと前から「ぶおー、プスプス」の音でせきたてられるわ植物の名前を覚えなあかんわ、百きんルーペで花の観察はせなあかんわで大変でした。

でも梅谷くんの日頃の行いのおかげで天気にも恵まれ、暑くもなく快適な一日でした。

杉木立の涼しさ、山頂のそよ風、草花の可愛さでストレスも飛んで行きました。

そして、山頂食事会の食材の豊富なことサイ

コーで、ビールの味も格別でした。

山歩き中のブドウにイチジク、ぷっちゃん羊羹もおいしかったなー。

皆さんありがとうございました。

★さて次回は2011年1月10日（月曜祝日）金剛山樹水観察会です。

いつもと同じく8時半河内長野駅集合。山頂で豚汁です。

持ち物、おにぎり、お湯500～1000ml程度、アイゼン、防寒対策よろしく。

健脚山田先生に負けないよう皆さん足腰鍛えておきましょう。（2010年9月18日記）



桑名さん(右端)、山田先生(右から2人目)、梅谷さん(左から2人目)

## 第15回途上人KITANO 乗鞍登山を終えて

今年の参加者は4年振りの桑名、初参加の23期山本さんです。合計18名でした。

残念ながら常連の猪之良、仁張、上村はるら、西田さんらは不参加。岩国組は今回から抜けました。

今年は梅雨も早く終わり天気心配は要らないと思っていましたが当日はあいにくの雨模様、しかし、バスの中は、はやパワー全開の歓談が始まっていました。

初参加の山本さんは顔みせの集金業務、相変わらず使いの荒い会です。

今年も多くの差し入れがありました。何時も

ぶっきらぼうながら繊細な小谷さんのビール、山本さんの心こもった、サンドウィッチと明石の蛸、サザエ、宇羅さんのトマト、キュウリ、梅谷さんの枝豆、鶏肉、これにビール、話が加われば盛り上がらないはずがない。

米原で宇羅、岡田さん合流、各人の近況報告がはじまりました。

7月30日、夜中じゅう雨、4時の起床を5時に遅らせ、お天気勝負、乗鞍は私達を見捨てなかった。5時には雨は上がり、霧にかわりました。6時出発 難しい判断をしないで済みました。

ご来光はだめでしたが梅谷さんの花々の説明、これにはさすがの桑名さんも口を挟むことが出来ません。梅谷さんお勧めの富士見岳からの展望は不可能でしたが可憐な花、雪渓、雷鳥など楽しみました。

それよりも全員剣が峰（3026m）には無理なく登りきりました。好天気なら見られたであろう槍、穂高、木曾御岳などのパノラマは望むことは出来ませんでした。これは次の機会の楽しみにしておきましょう。

今回の登山では登りで顎をだす井口、小河原さんは楽な様子でした。私は今回厳しかったです。私の様子に梅谷さんは来年の予定に一抹の不安を持たれたようです。来年の行事は世話人で検討いたします。（前田記）



7月30日 畳「白雲荘」前にて

## 北辰ファミリー、香港・マカオの旅

おがはら きょうこ  
26期 小河原 京子(旧姓 坂本)

春の陽ざしがうららかな3月24日、関空の口

ビーに1人の紳士と4人の微女たち(?)が集合致しました。山田先生と羽柿さん(27期)、才村さん(27期)、得本さん(7期)の奥様の淑子さんと私の青春5人組です。

さあ、3泊4日の香港・マカオに出発です。

香港着後、高速船にてマカオへ。カジノ見学後、夕食に広東料理を頂いてセナド広場の散策です。

広場のライトアップはカラフルではないシンプルな光で、とても落ち着いた雰囲気でした。

2日目は世界遺産マカオ歴史地区観光(媽閣廟、他)とマカオタワーへ。

タワーの展望台で下が透けて見える床に、こわごわ横たわって記念写真をパチリ。決してトドではありません。

3日目は香港に戻って香港島・九龍半島観光へ。(黄大仙寺院、他)

夜はビクトリアピークからの夜景見学や2階建て屋根なしバスの体験乗車。バスを降りて女人街の散策、色とりどりの洋服やアクセサリを売る露店が並び、人々でごった返していました。

豊かになった社会の明暗を感じながら、繁華街の看板すれすれに行くバスの上から、ビルの谷間を見上げたら、お月様の何と美しかったこと!!

4日目はショッピングを終え帰国の途へ、19:20関空着。

微女?4人の恋人兼通訳兼ボディガードの山田先生、本当に有難うございました。



左から得本さん、羽柿さん、小河原さん、山田先生、才村さん

## 阪上さんの叙勲で盛り上がる 12期1組クラス会

12期 <sup>まえ</sup>前 <sup>きよし</sup>喜代志

北辰会第12期1組クラス会を平成22年11月8日(月)11時~15時 阪急グランドビル27階の和風居酒屋「咲くら」で開催し、今回も会員36名中半数の18名もの参加があり、喜ばしく思います。

春の叙勲で藍綬褒章を受けられた阪上豹吉兄のお祝いを兼ねて行いましたが、当日まで本人も、みんなにも伏せていました。それは他にも受章者が居られるからですが、今回の阪上兄の授章は職業上でなく、数十年に亘る保護司としての貢献に対する褒章で値打ちが違うと思います。クラス会は毎年実施する事にしています。



クラスメイトと前さん(前列中央)

## 「新年互礼会新聞」の 取り持つ御縁

12期 <sup>かめやま</sup>亀山 <sup>としこ</sup>敏子(旧姓 三原)

毎年元旦に年賀状の束と共にクラスメイトに届く郵便第1号が、12期1組新年互礼会新聞です。10年ほど前に発起人様達の呼び掛けで「同窓会には中々集合出来ないので、せめて皆様の元気な声を年に一度紙上にて集合戴ければ」との趣旨で、新年の挨拶・近況報告・思い出等々投稿を募集され2004年1月第一号が発刊されました。それに際しては世話人様達の各原稿の整



理・印刷・発送等並々ならぬ御尽力と御奉仕のたまもので、今年も第8号を戴きました。

実は諸々の事情により今回を以て廃刊にしようかと思うが、如何かとの問合せのお便りがありましたので、存続を願う気持ちで下記の私見を述べる事に成りました。(幸い「互礼会新聞」は存続決定)

私に取りましては「互礼会新聞」の取り持つ御縁で、私の初回投稿に気付かれた新井様が季節の花々の便り・御家族の様子・歴史上の人物等々を冊子に纏められたのを折々に送って戴き、感激の交流が始まりました。丸山様とは「北辰会報」に投稿されていた俳句で高尚な趣味を持って活躍されているのに感心し、また私の前住所の川西市にお住まいだとも気付きました。渡辺様の北辰IV「はるけき流れ」の投稿を拝読し、文中に伊丹中学(現県立伊丹高校)卒業とあり「アッ伊丹や!」と思わず声に出しました、同じ緑が丘の学び舎に通学して居られたのだ!と、旧制中学校・女学校から新制高校に変革の時代で当時の様子が走馬灯の様に駆けめぐり、懐かしさの余り突然で不躰とは承知の上でお二人に手紙を差上げました所、御丁寧にお返事を戴き恐縮やら、嬉しいやら、在学当時は男性達とは親しく話も出来なかった私ですが、「互礼会新聞」や「北辰会報」等の御縁で何のてらいも無くお便り出来る事は素晴らしく、私を積極的に行動させてくれた事を嬉しく、誇らしく思っています。どうか此の御縁が永遠に続きます事を願って.....

(H.23.1.30)

# 12期1組 互礼会新聞

## 新年互礼会新聞

北 辰 十 二 期 一 組 第 八 号

松 永 安 哉

明けましておめでとございます。昨今の尖閣諸島の漁船問題、ロシアとの国境問題、普天間基地問題、小澤問題など現政権の対応はどうなっているのでしょうか。早く納得の行く処理して欲しいです。

さて、昨年八月、久し振りにゴルフ練習場でクラブを振った所、クラブが飛びそうになり、練習を止めました。突然、左手の握力が全く無くなったのです。左手の人差し指で缶ビールの栓を開けることも出来なくなりました。MRIなどで検査したら、首の頸椎四、五、六、七の間の軟骨が磨り減ったり、すれたりで神経を圧迫して、左手の親指、人差し指、薬指の力が無くなったのです。随分前から握力がなくなっていたと思っていたのですが、永年かかって減退してきたようです。

その後、連日医者で首を引っ張るとか、電気治療に通い、自宅では握力トレーニングを続けて、二ヶ月でやっとビールの栓は開くようになりましたが、元に戻るのはまだまだ時間が掛かりそうです。氣長に付き合おうと思えます。目下、ゴルフ、テニスとも休止中です。一方、目的の方は二年前の車の免許更改が、白内障の關係らしいです。今年もメガネなしで通ればと期待しています。歳のせいでも悪くなったたり良くなったりと、体のいろんな所に影響が出たようです。

上野 安夫

平成二十三年 辛卯年



# 「北野13期歩こう会」より

たにむら たかいち おかべ せつこ  
世話人 谷村 隆一、岡部 節子

北野13期歩こう会 例会案内 平成23年度計画 注: 弁当・水筒各自持参・体調自己管理

	67回	68回	69回	70回	71回	72回	73回	74回	75回	76回
月 日	2月25日(金)	3月19日(土)	4月8日(金)	5月28日(土)	6月17日(金)	7月22日(土)	9月27日(火)	10月22日(土)	11月11日(金)	12月
雨天予備日	2月26日(土)	3月20日(日)	4月9日(土)	5月29日(日)	6月18日(土)	雨天決行	雨天決行	10月23日(日)	11月12日(土)	
行き先	伊丹 長福寺公園	千早 万寿寺公園	松原 龍泉寺	遊樂寺 十輪寺	池田 五月山	狭山 狭山博物館	高松城一 石舞台一 園寺	堺・仁徳院	平野院ほか	1年の反省会 次年度の 計画検討会
コース		千早 万寿寺公園 遊樂寺	山科 龍泉寺 南陸守本願寺					仁徳院一園 大田公園 散策	平野院と龍野 女子学院校内 大田公園を参拝 する?	
集合場所 (改札前)	J.R 伊丹駅	大阪 モノレール 万寿寺公園	J.R 山科駅	阪急 東御日駅	阪急 池田駅	南海高野線 大塚 狭山市駅	近鉄 古野線 飛鳥駅	J.R 百舌鳥駅	京阪電車 宇治駅	
集合時刻	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	
歩行距離			約5キロ		約6キロ			約9キロ	約6キロ	約6キロ
担 当	新木英二 079-563-9936	吉田一哉 072-728-1282	総持恒雄 072-633-9188	佐藤勉 072-424-6338	中庄谷直 072-752-1736	岡村昇 072-367-2539	岡田和子 06-6620-5728	岡部節子 072-6865-5521	谷村隆一 072-635-4661	
備 考								年齢を証明するものを持参して下さい。		

13期生の皆様への参加をお待ちします。

# 14期最後の同期会

かわら ち え こ  
14期 川原 千恵子(旧姓 田中)

平成9年5月24日に第1回の14期の同期会が京都で、それから2年毎に1組~4組までが持ち回りで幹事を務め平成22年5月29日、8回目が幹事4組になって丁度2廻りして私達も75歳になりました。とりあえず同期会は終えて、今後は違う

形のクラス会、有志会などの集まりとして残し和やかに最後の同期会を大阪のヴィアレ大阪で片元先生、関東から数名、韓国から1名を含め48名の参加で開催しました。

最後まで住所の分からなかった韓国出身の全一東さんが15期幹事の清水さんと阪大で全さんと同期だったことから分かりました。川野前会長のご尽力で韓国から初めて同期会へ出席して頂きました。長いブランクを埋めるように楽しく語り皆で再会を喜び合いました。全さんは韓国で延世大学（名誉教授）今も中央大学（韓国）で講師をされているそうです。



前列左から5人目より松尾副会長、片元先生、川野前会長、全さん

## 北辰18期同期会の報告

18期 さとう とらお  
佐藤 寅夫

我が18期の同期会は今年も2月13日に22名が参加して「十三がんこ東店」にて開催しました。

今年の冬は例年に無く豪雪で、都市部でも降雪し各地で市民生活に大きな被害をもたらし、雪や寒さの影響で参加者が少ないのではと心配していましたが、昨年並みの出席で盛大に開催することが出来ました。

我々も最年少の者が昨年、全員が前期高齢者の仲間入りし、大半は生産活動からは引退組です。中には未だ、現役で重役や社長の重責を担い頑張っている兵もいますが、既に亡くなられた方もあり、大半は趣味の集大成に向けての取り組み、旅行、体力づくり、野菜作り等々とか、今まで培ってきたノウハウを地域社会で子どもたちの指導など、奉仕活動や運営、社会福祉に汗を流している者もいて、人それぞれで



乾杯の音頭をとる古城会長 18期会

す。また、現在北辰会会長を送り出している期でもあり、同期の心を密に保つためにも、情報交換やお互いの安らぎの場の一つとして、活用できればと、このところ毎年同期会を開催しています。

同期会では、お互いに近況を気軽に話し合ったり、昔話に花をさかせたり、趣味の披露や自慢話とか、時には成人病等の経験談のやり取りとかで、世間話しの場と変わりませんが、何故か何年経っても同期の繋がりは、一味違うものが有ります。今後もこの繋がりを大切に続けられることを願っています。

## 24期「だるま会」山本先生の喜寿を祝う会

24期 たなべ まさる  
田辺 聖晴



前列中央 山本先生、後列左から田辺幹事、中西幹事  
2010年4月25日 箕面観光ホテルにて

## 2010年北辰25期会だより (抜粋)

### 中田先生からの便り

皆さんお元気ですか。こちら、知らぬまに男性の平均寿命に達し驚いています。

「猛暑113年で最高」というのに、体の強くない私が熱中症にかからないのは不思議なくらいです。同封の写真のように、百獣の王ライオンでもやられているのに!中国の平均寿命は男性72.9歳、女性74.7歳だそうですよ。それでは紅葉の秋を思いきり楽しんでください。

◇ 2009年3月母校定時制が閉じられ、25期会の皆様からは09年総会、懇親会、賛助金活動では47名の方々から、総会参加(17名)、17万8500円の賛助金がありました。多大なご支援を北辰会に頂いたことをご報告し感謝いたします。

◇ 25期会は、2009年に皆様に「25期会だより」と「8回近況集」をお手元に届けることができました。

◇ 2010年11月14日、十三「天津閣」にて参加者19名で、和やかに同期会を開くことが出来ました。全員が近況報告をし、次回の再会を約束しました。「25期会だより」と「9回近況集」を届けることが出来ました。

◇ 今回の会には、3年間25期生とともにした、輪島在住の宇羅恒雄さんが、参加者全員に新米3合のお土産付きの初参加がありました。

◇ 森都美江さんは闘病中にも係わらず、25期会に元気を貰い、病気に打ち勝ち、次回も元気に参加すると述べ、参加者は熱い思いを受け取りました。

◇ 西村喜美江さんは、一人息子さんの闘病、ご逝去から、6年振りの25期会へ復帰をされました。元気を貰ったといわれていました。今は地域と北辰会で活躍です。



同期会スナップ

## 事務局からの報告

### ◇人事(敬称略)

1. 役員：会長以下常任幹事の留任
2. 幹事の交代

新任	22期	大野木 勝昭、中村 文子
	25期	吉岡 伸二
退任	11期	河端 清五郎(死去)
	22期	中野 久夫、房本 光代
	25期	渡部 克彦

### 3. 事務局

新任 30期 足立 登

### 4. 学校

校長 くすの のぶたか 楠野 宣孝(59才、教育振興室長より)  
 教頭 竹内 祥浩、事務長、清水 正治  
 (八尾 隆 前校長は定年退職、大阪工業大学特任教授へ就任)

### ◇定時制、北辰会ホームページについて

北野高校よりホームページに定時制の枠を設けるから参加してはどうかとの打診があり喜んで参加させて頂きました。事務局が担当し、11月8日に立ち上げました。今年の1月1日に1回目の更新をいたしました。

ホームページの表紙は「北辰会の広場」とし4つのパートに分かれています。

1. 定時制、北辰会のメモリアル(固定ページの予定、当面充実させます)
  2. 会員皆様からのたより(適宜更新します)
  3. 事務局からのたより(適宜更新します)
  4. 定時制、北辰会の出版物の紹介(固定ページの予定、当面充実させます)
- これらを徐々に充実させていきます。

### ◇定時制ホームページへのアクセス方法

インターネットに接続し、北野高校ホームページにアクセスしてください。その中の「定時制・北辰会」をクリックしてください。「北辰会の広場」に繋がります。

1. 定時制・北辰会のメモリアル
2. 皆様からの便り
3. 事務局からの報告
4. 定時制・北辰会の出版物の紹介

## ◇会計報告（別紙会計報告参照してください）

1. 収入合計 574万円、支出合計 227万円  
繰越金（郵便貯金、定期預金） 347万円
2. 賛助金は10名さまから186,000円戴きました。
3. 書物売上げは69名の方から21万円ありました。
4. 大きな支出、組織活動費36万円、会報発行費72万円、文集発行費93万円
5. 2011年の大きな支出予定、会報発行費70万円、組織活動費36万円で年間予算は135万円
6. 2012年への繰越金予定は212万円で2012年迄の活動資金の用途は立っています。  
2013年に賛助金を戴く予定です。その時には2015年総会を見定めた賛助金運動になります。

## ◇常任幹事会承認のもと岩手・宮城・福島の3県へ義援金計20万円を送りました。

## ◇文集北辰Ⅳ「はるけき流れ」とその他文書売上げについて

1. 文集発行費は93万円、部数1,000部発行、4月下旬、会報と同時、予約数366部
2. 30名のスタッフでA5、340ページ、88編の入力、校正など作業を行い多くの協力で出来上がった。この事業は北辰会の力量を確実に高めたと判断しています。
3. 余裕が200部位あります。北辰会関係者に販売することで文集の値打ちを高め、北辰会財政に寄与して下さい。
4. 定時制高校、北野高校先生、特別会員の皆様には贈呈いたしました。約400部

## ◇北野高校定時制と北辰会出版物を国会図書館と大阪中央図書館に寄贈

閲覧方法は関係機関にお尋ねください。

## ◇会報17号、4月下旬発行

1. 会長挨拶、文集反響、定時制、北辰会ホームページの紹介、会員からの報告、6期安藤、12期新井、27期羽柿、同期会などの報告、事務局報告、（人事、賛助者リスト、

会計報告、その他）

2. 発行予算、75万円

## ◇同期会、同好会開催状況と予定、事務局把握分

- 12期** 1組クラス会11月8日、36名中18名参加で、楽しく終わりました。クラス会は毎年開催の予定。
- 13期** 歩こう会年間10回予定、今年は76回になります。予定表はホームページにも掲載します。参加者は毎回8～10名位。参加希望の方は13期幹事さんか事務局まで
- 14期** 昨年、最後の同期会開催しました。以後はクラス会や友人の集まりになります。
- 17期** 同期会は23年11月13日予定しています。
- 18期** 2月14日、同期会開催。
- 19期** 同期会（南部会）の開催。
- 21期** 去る1月20日（木）と23日（日）2日に分けて我らの同期生が古希になったので1月末日を以て西中島南方の居酒屋を閉店するとのことで急遽有志によつてのミニ同窓会を開催した。  
20日は女性群、23日は男性群総勢13名の同期があつまりワイワイガヤガヤ、時間の立つのも忘れて賑やかなひと時を過ごした。
- 22期** 6月10日、中澤先生を含む13名の3組クラス会、今年は1月20日に10名で終わりました。
- 24期** 11月に山本クラス（だるま会）10名で開催。今年同期会開催予定。
- 25期** 11月14日19名の参加で同期会開催。近況報告集NO9号13ページ発行しています。同期会は毎年開催予定です。東日本大震災に3万円の募金をしました。
- 26期** 有志で「河内先生遺作展」を2011年2月25日～3月2日ナルミヤ戎橋画廊で開催協力。同期会を11月に開催予定。
- 27期** 6月26日（日曜日11時、がんこ十三本店06-6302-9371）にて同期会開催します。
- 29期** 今年中に同期会開催予定。
- 30期** 同期会2012年開催予定。

## 東京北辰会

2010年6月、20名で懇親会を開催、2011年6月、2012年スカイツリー完成に合わせ懇親会予定、2011には東京北辰会だより発行予定。

**途上人KITANO**

7月に18名で乗鞍岳、12月に20名で忘年会、2011年7月は上高地を予定。

2010年は山田先生を含み2回金剛山植物観察会を6～7名で実施しました。

次回は4月16日（土）8時30分近鉄河内長野駅集合です。

**北辰ファミリー**

山田先生を含み5名で香港、マカオ旅行。2011年は信州、東北を予定。

**60期代OB会**

2011年3月ぐらいに予定。

**◇2011年活動方針****1. 幹事の3名体制。**

2. 役員、事務局による同期会、同好会へのサポートを強める。
3. 各種集会で手持ち書籍の販売。
4. 定時制、北辰会ホームページの充実、及びメール会員を把握し拡充に務める。
5. 校歌や校舎などが入ったDVDを作成し、販売の準備。発行時期未定。
6. 母校関係者との協力関係を深めます

**◇訃報**

11期幹事 河端 清五郎さんが2011年1月25日にお亡くなりになりました。文集北辰Ⅱの編集長、11期会の運営、地域での玩具づくり、里山ボランティアに精力的に貢献されました。ご冥福をお祈りいたします。

**◇賛助者のご芳名(敬称略) 2010年分**

松下邦夫元校長先生
藤枝元校長奥様淑恵様
桑原正二先生
1期 故軽部さん奥様雅子様
9期 三木田徹
23期 山本展代
25期 三谷弘光
25期 内田裕康
25期 内田豊子
25期 原田善造

**編 集 後 記**

「定時制閉課程」に伴う北辰会の事業が昨年3月「懇親会」の開催、文集北辰Ⅳ「はるけき流れ」の発行をもって無事終了いたしました。

今回の会報は文集に寄せる皆様の声を特集致しました。

12期新井さんは、文集に書かれている体験、生き方はまさに「戦後史」そのものだと述べられています。ここに掲載された感想に多くの人が共感されることと思っています。

この会報は会員皆様のお便りを紹介し、皆様の元気のもと、そして、会員皆様との架け橋になることを願います。

会報校正時に東日本大震災が発生しました。会報が心をつなぐ役割を果たすことを祈っています。